

◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和4年度 赤井小学校 令和4年6月20日 NO.4

赤井小ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い いつも元気に あかいつ子◆

さくらだいこくん

地域の皆様・先輩への感謝とあこがれと…

志(こころざし)高く あかいつ子

赤井小学校は、地域の皆様のご協力を得て「赤井5（ファイブ）」に代表される特色ある教育活動を行っています。先日はコミュニティスクール「田んぼの学校」部会の皆様と、田植え（5年生）やサツマイモの苗植え（1，2年生）を行いました。また、プール清掃の際には、齋藤俊博様やeおっかあの会の皆様にお手伝いをいただきました。おかげさまで、子どもたちのやる気にも火がつき、思った以上に短時間できれいになりました。読み聞かせボランティアの皆様には、2年ぶりに子どもたちと対面で本の読み聞かせをしていただき、子どもたちは本の世界に浸っていました。皆様、ありがとうございました。

今年度は、小中連携にも力を入れています。5月25日には小中合同のあいさつ運動、6月9日には6年生が矢本二中で中総体壮行式を見学させていただきました。特に壮行式見学では、中学生の堂々とした態度、部活動ごとの大きな声での決意表明を見て、あこがれを抱いたようです。6年生の子どもたちにとって、中学校生活をイメージし、それに向かって今何を頑張っていくかを考える貴重な機会になりました。

地域の皆様と関わり、先輩と関わることは、あかいつ子が「なりたい自分」や「夢」について考えることにつながります。子どもたちが目標を持ち、自ら考えて毎日の生活を送っていくことができるよう、私たちも支えてまいりたいと思います。



今年も安全に・プール開き 6/16

ぴっぴかぴかになったプールでたくさん泳げるようになりたいと、2，4，6年生の代表が目標を発表しました。安全な実施で、体力とやり抜く心を育ててまいります。

（右：2年雁部めぐるさん，左下：4年菊地藍斗さん，右下：6年今野大獅さん）



教員も「協同的な学び」

赤井小学校教員の今年の研究テーマは「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」です。国語科を中心に研究し、子どもたちの読解力と書く力を高めていくことを目指します。

先日実施した授業研究会では、5年生の授業を参観し、よりよい指導のために話し合いました。教員も子どもたちと同様、「協同的に学び、研修を深めています。

6月の朝会講話から さきがけあいさつ

先輩の姿から ～良い伝統を引き継ごう～

(要約) 5月25日に、矢本二中と合同で「あいさつ運動」を行いました。赤井小学校出身の中学生の皆さんが、自分から先に、よく響く声で皆さんにあいさつをしてくれました。その素晴らしいあいさつに、皆さんも元気にあいさつを返すことができていましたね。

校長先生が前に勤めていた学校で、元気のよいあいさつが自慢の学校がありました。毎年、あいさつの素晴らしい6年生が必ずいて、学校のみんなをリードしていました。その子どもたちに話を聞くと、先輩のすばらしいあいさつを見ていて、「自分も〇〇さんのようになりたい」とあこがれていたのだそうです。それが毎年つながって、あいさつ自慢の学校になっていったのですね。



学校を作るのは皆さんです。赤井小学校にはたくさんのよい伝統があります。あいさつもその一つです。地域の皆さんや家族に、友達どうしでも、自分から先に、心を込めて、元気な声であいさつをする「さきがけあいさつ」をしていきましょう。高学年の皆さんは、学校のリーダーとして、先輩が作った素晴らしい伝統を引き継いで、下級生のお手本になってください。下級生の皆さんも、高学年の皆さんが「自分たちも頑張ろう」と思うような「さきがけあいさつ」をして、みんなであいさつ自慢の赤井小学校をこれからも作っていきましょう。

感染症対策を講じながら、教育活動を実施します

昨年度の3学期頃から新型コロナウイルス感染症への対策として、グループ学習での話合いや音楽の学習における歌唱、異学年合同での活動や集会などを控えてきました。市内での感染拡大状況が落ち着き、対策のポイントも明らかになってきていることから、制限してきた活動を徐々に再開し、通常通りの学習に戻していきます。

友達との対話を通して学ぶことは学習指導要領でも重要とされており、異学年との交流は志教育や思いやりを育む点で大変有効です。また、体育の学習で適宜マスクを外すことは、熱中症対策として必要です。赤井小学校では、文部科学省や東松島市教育委員会からの通知をもとに、**距離を取る、換気をする、実施後に手洗いをする**など、基本的な対策を徹底し、教育活動を実施してまいります。ご理解をよろしくお願いいたします。 ※今後の感染状況によって、活動の仕方はその都度見直してまいります。

主な活動とその対策

- 異学年の交流活動、集会 … マスクの着用、換気の徹底、講堂や校庭など広い場所で実施する。
- グループでの話合い … マスクを着用し、短時間で実施する。
- 音楽の学習 … 楽器の演奏は、音楽室や講堂で同じ方向を向いて行い、楽器の後始末をしっかりとる。歌はマスクを着けて歌う。
- 体育の学習 … 熱中症予防のため、運動中はマスクを着用しない（更衣室等ではマスク着用）。
- 家庭科の学習 … 調理実習と試食は個人で実施する（グループ活動なし）。
- 給食後の歯磨き … 口を閉じて磨けるよう指導し、口をゆすぐ際に手洗い場での「密」を避けるよう工夫して実施する。

マスクの適切な着用、必要以上のおしゃべりはしない、友達との距離を取るなどは、基本的な感染対策として重要です。また、朝の健康チェックは継続します。今後も、お子さんが健康な生活の仕方を実践できるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

引き続き、お子さんやご家族がPCR検査を受ける場合、コロナウイルスに感染した場合には、学校（休業日は学校携帯）に連絡をいただけるようお願いいたします。